



# 経済的理由で子どもを 持てない人をゼロにする 政策提言

---

2023年8月

りっけんユース 一同

「経済的理由で  
子どもを持たない  
人をゼロにする」  
というテーマ選定  
の理由

- 日本財団の18歳意識調査では、69%の若者が子どもを持つ上で  
の障壁として  
「金銭的負担」を挙げ  
ている。

→ ・費用負担の視点から  
アプローチが必要

- 近い将来子育て世代に  
なる私たちにとって考え  
なければならない問題

# このテーマに対するユースメンバーの声



社会のサポートが無いせいで子育てできないのはおかしいし、  
自分もそうなるかもしれないのは嫌だ。何とかしたい

周りの学費や生活費などで困っている友達や先輩の生活をなんとかしたい



この問題は次世代に続いてしまう大きな問題だから、今いる人で解決すべき

**★もっと現場の声を聞きたい、知りたい、学びたい！**

ということで、、、  
政、学、民  
様々な分野の方に  
講演いただき、  
学びを深めました！

- ・ 1月 泉房穂明石市長講演  
(政)
- ・ 2月 井手英策教授講演  
(学)
- ・ 3月 NPO法人フローレンス井  
上衣織さん講演 (民)
- ・ 4月 山口慎太郎教授講演  
(学)

4回の講演を踏まえ、

- ・ 5月に意見集約、政策提言委員  
で提言のたたき台を作成
- ・ 6月に政策提言のたたき台のブ  
ラッシュアップ

## 1月 泉房穂市長講演

～やさしいまちづくり  
明石のまちの好循環～

### ★ユースメンバーの気付き

- 「子どもにやさしい」政策が出生率増に繋がったという泉市長の考えは、少子化対策のために子ども政策をするという従来からの考え方と方向性が逆であることに気づいた
- 現状の予算の精査で子育て政策の予算はある程度捻出できることを知ることができた
- 子どもに限らず市民を第一に考える泉市長の市民への本気の姿を見て、政治に一番大事なものは愛なのではないかと思った



2月 井手英策教授講演  
～ベーシックサービス（みんなに）  
+ 品位ある最低保障～

★ユースメンバーの気付き

- ・ 数値的なデータのみならず人々のマインドセットを踏まえた増税のお話など、目から鱗のお話の連続だった
- ・ 「増税はタブーか」というお話の中で、世論調査は聞き方ですぐ変わるというお話を聞き、物事を批判的に考えることの必要性に気づいた
- ・ 「ベーシックサービス」「品位ある最低保障」など、今後提言を考えていく上で非常に重要な概念を知ることができた
- ・ 「若者は怒れ」というお話が印象的だった

# 3月 フローレンス 井上衣織さん講演 ～子育て無料社会の提案～

## ★ユースメンバーの気付き

- ・本当に困っている人は行政のサービスを利用することすらできないということを知ることができた。支援のメニューを用意するのみならず、それをいかに利用してもらうかという観点が必要だとわかった
- ・政策を作る上でどうやって困っている人たちにアプローチするかも考えないといけないと思った。
- ・日本の保育について、現場の方からお話を聞いて驚きの連続だった。



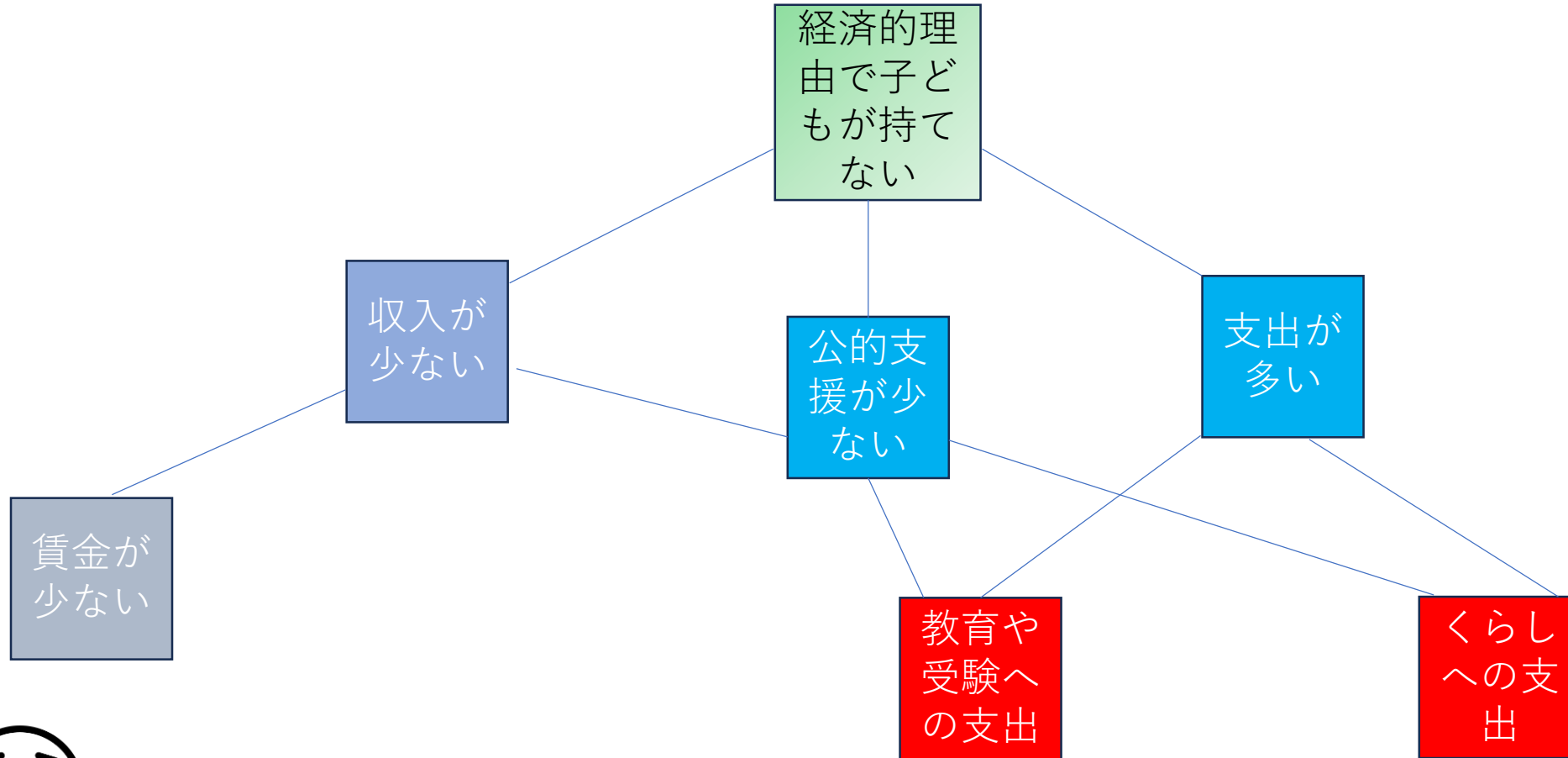
# 4月 山口慎太郎教授講演 ～高等教育と男性育休～

## ★ユースメンバーの気付き

- ・「出世払い型教育ローン」という、国の財政をそこまで圧迫せず、かつ経済的理由で進学を諦める人を救済できる山口先生の提案は、提言に生かしたいと思った。
- ・家庭や男性の人生に好影響を与える男性育休や、リモートワークについてのお話は、今まで自分が持ったことがなかった視点で、とても楽しいお話だった。
- ・今の高等教育の現状について、さまざまな統計やグラフで再認識することができたのでよかった



# 論点の整理




全てに共通する課題

① 諸政策に地域間格差がある

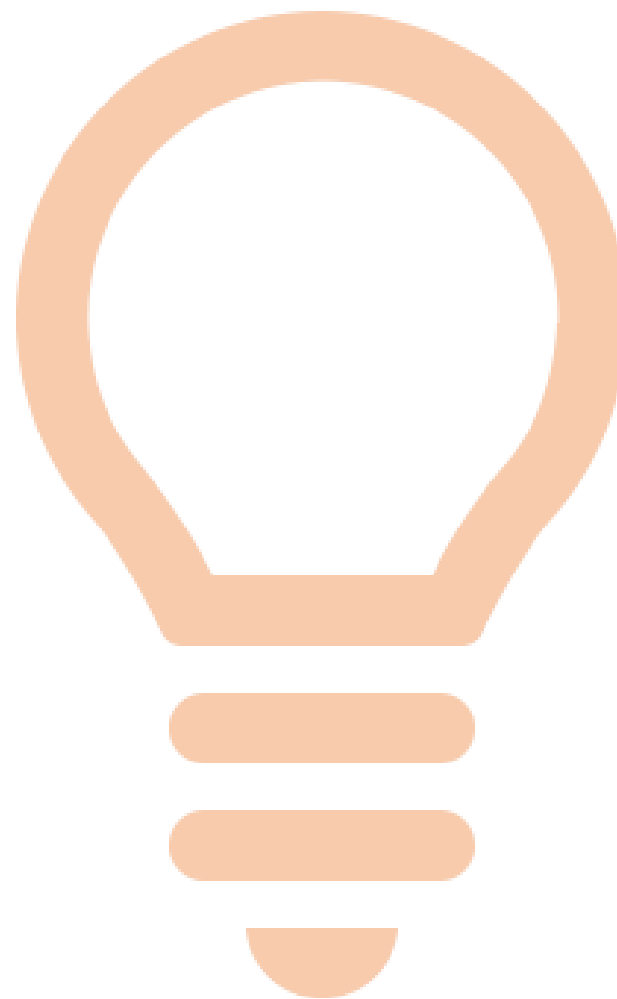
② 所得制限が多すぎる



# 政策提言



★ 「くらし」  
をよくするた  
めの提案



① 子どもの  
くらし

## 《現在行われている政策や現状》

- ・ 地域子どもの未来応援交付金
- ・ 子育て費用、とりわけ「生活用品」に対する支援を行なっている自治体もある
- ・ 近年子ども食堂の数は急増

## 《現在の問題点》

- 素晴らしい取り組みだが、やってない地域もある
- 国による支援がないため、地域格差が発生
- 食堂の数に地域差がある

目標：全国一律の取り組みを行うこと

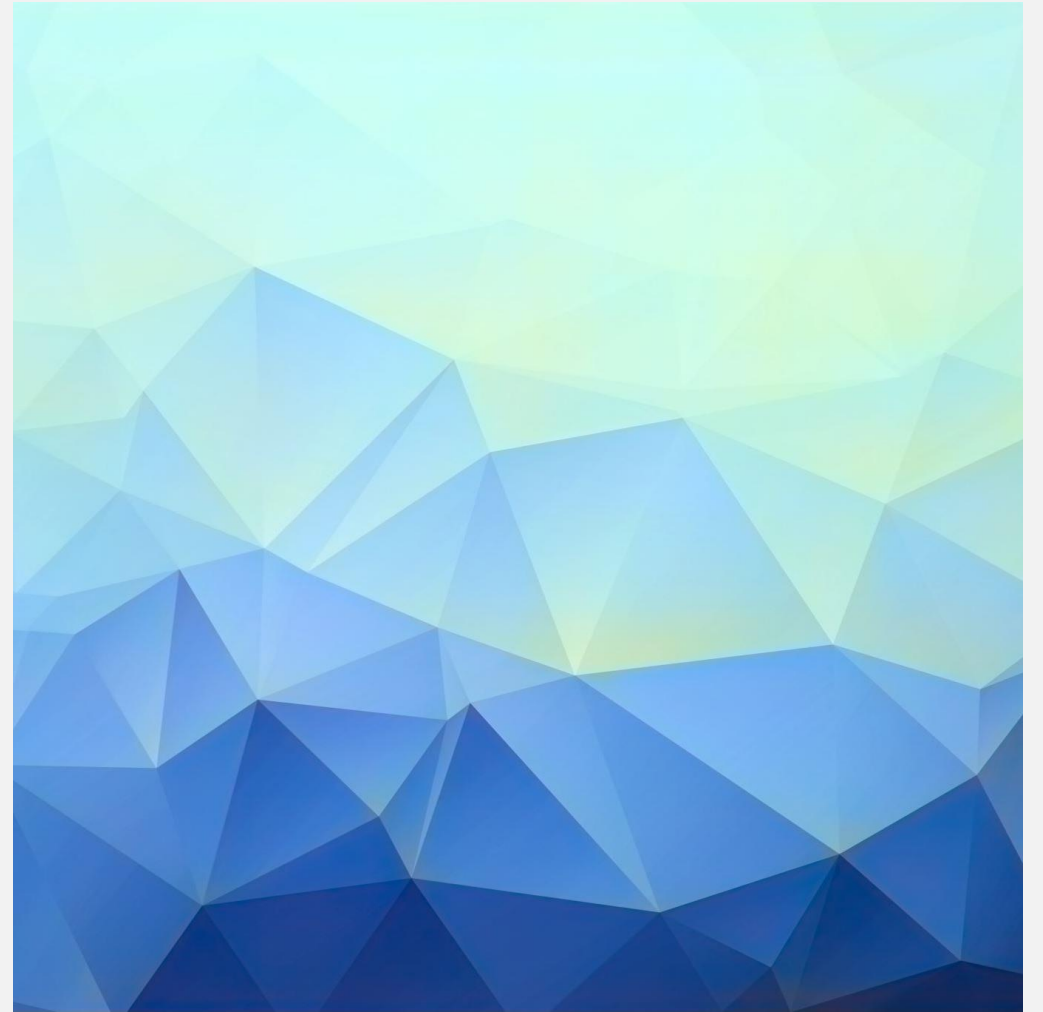
# 私たちが考える 解決策

---

国による、全国一律、所得制限  
なしの育児用品補助の施策を実  
施する

---

子ども食堂や子ども事業への給  
付金の拡大を国主導で行う



②みんなの  
くらし

## 《現在行われている政策や現状》

- ・ 国による標準条例案からの公営住宅の保証人規定削除
- ・ 各自治体による子どもの医療費援助

## 《現在の問題点》

- 全国 2 / 3 以上の自治体で保証人規定を残している  
この規定が原因で入居断念する人も
- 対象年齢も援助額も自治体によってバラバラ

**目標：** 住まいや医療のような生活に必須のものを当たり前  
に享受できるように、全国一律の、所得制限のない施  
策を実施すること





# 私たちが考える解決策

---


18歳以下に対する医療費の無償化を実現

---

礼金敷金の実質無償化

---

公営住宅における保証人の免除を全国で実現



★教育や受験を  
受けやすくする  
ための提案



# 私たちにも身近なこのテーマ、みんなの現状は？



学びたいなら学べる社会になってほしい

塾代が高すぎる😅



私立大の入学金が高くて受験を断念した



受験会場に行くだけで3万円もかかりました😞



大学院の進学を希望していたけど、学費と奨学金の負担を考えて諦めた



# ① 大学受験費用負担軽減のための の提案

---

## 《現在行われている政策や現状》

- ・ 大学受験費用に特化した国の政策はない。自治体でもごくわずか

## 《現在の問題点》

- ・ 都市部では通う人の多い 塾や予備校の費用が高すぎる
  - ・ 経済的に浪人できない家庭もある
  - ・ 入学金の納入期限による無駄な負担
  - ・ 地方在住者は受験を受けるだけで莫大な交通費、宿泊費がかかる

目標：「大学受験はお金がかかる」というイメージを改善する

# 私たちが考える 解決策

- ・全国の公立高校への「補習科」の設置推進

→中国地方などに存在する制度。設置のための根拠法を作り、公立高校で安価に浪人生の受け入れを。

- ・地方在住の受験生に受験への係る交通費、宿泊費の支援

- ・私立大学の入学金納入期限の先延ばし



## ② 学校に関わるお金の負担を減らす ための提案

---

## 《現在行われている政策、現状》

- ・高等学校等就学支援金、高等教育の就学支援制度

## 《現在の問題点》

- 所得制限がある
- ・教育政策全般で家計急変家庭への支援がない
- ・給食費や修学旅行費など授業料以外で必要な費用への施策が少ない

目標：所得制限撤廃、全国一律の施策



# 私たちが考える 解決策

- 高等学校等就学支援金の所得制限撤廃、高等教育の授業料無償化
- 給食費の完全無償化
- 修学旅行費の補助

これらの政策を国主導で行い、  
目の前の自分の利益などよりも  
みんなの幸せを一番に  
考えられる政治が行われ、  
みんなが幸せな国に  
なってほしいと願っています

---

